








長土堀こども園④

テーマ 及び目的	自分たちで栽培したさつま芋を戸外で焼き芋にする。 友だちと一緒に戸外で焼き芋を味わう。
対象及び 参加人数	3歳児 20名 4歳児 17名 5歳児 19名
実施日	平成29年5月～10月
実施主体	長土堀こども園
会場	長土堀こども園 各保育室
スタッフ	栄養士2名・各クラス担任保育教諭
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・5月にゆり組（5歳児）が園庭の畑にさつま芋の苗を植え栽培する。 ・食育図鑑などで、さつまいもの栽培方法や食べた時の働きなどを調べる。 ・10月、さつま芋を収穫する。 ・焼き芋会当日に子どもたちが保育者と一緒に下ごしらえをする。 さつま芋を洗い新聞紙で包み濡らした後、アルミホイルで包む。 ・保育者がかまどを作り、火をおこし、炭火でさつま芋を焼く。 ・さつま芋が焼けるにおいを嗅ぎながら園庭で遊ぶ。 ・出来上がった焼き芋を園庭で友だちと一緒に食べる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <ul style="list-style-type: none"> ・さつま芋のつるを食べられることを栄養士から教えてもらい、つるのすじを取って、調理してもらい、昼食時に食べる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div>

<p>成 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで植えた苗の世話をし、成長を見る。収穫や下ごしらえをする中で野菜に直に触れ、においを嗅いだり、触感を楽しんだりすることで興味をもつことができた。 ・食育図鑑や図鑑、絵本視聴を通してより関心が深まった。 ・保護者にお便りやポートフォリオで活動報告をすることで、家庭でも会話が弾み、さつまいの献立を作ってもらったり、調理のお手伝いをしたり経験が広がった。保護者への献立紹介として「さつまいクッキー」のレシピカードも好評であった。 ・残ったつるは、クリスマスのリースの材料となって、子どもたちのクラスを飾った。また、綱引きをしたり、すじを取って食べたり、制作遊びの材料にしたりと、植物を活用すること、その不思議についても感じる事ができた。 
<p>今後の課題 感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいを植え、水やり雑草取りなどの世話をし、図鑑や絵本を調べて成長を楽しみをする中で植物の不思議にも気づいているようであった。 ・自分で育てて収穫し味わうという一連の活動を通して、総合的な学びにつながった。 ・炭火で焼き芋をしたので、焼けるまでに待ちながら火や煙を見たり、目に染みる煙さを感じたり、焼ける匂いを嗅いだりと貴重な体験ができた。 ・食の経験は、とても印象深く心に残る。幼児期にゆったりした時間の中で実際に触れたり感じたりし、学んでいくことを大切にしていきたい。 ・つるも食べられるからと、栄養士の指導を受けながら筋をとり、調理してもらったのも良い経験になった。素材を大事にすることも知ることができた。栄養士という専門性をもった職員がかかわることで、子どもたちの学びは深くなると感じた。 ・家庭と連携して子どもたちに豊かな食環境を作っていきたいと思うが、いろいろな事情で、家庭での経験が広げられない子どもたちもいる。園で、共通の体験ができるよう工夫していきたい。